日本共産党 6名全員当選

公約実現へ 全力で がんばります！

区議会議員選挙日本共産党候補結果

定数３４	順 位	氏　　名	得 票 数
当	１７	熊田ちづ子	１，３６６
当	１８	風見利男	１，３６３
当	２２	沖島えみ子	１，２４７
当	２６	星野たかし	１，１２９
当	２８	いのくま正一	１，０９２
当	３０	大滝実	１，０４０

今回の区議選で日本共産党は、大滝実候補が北村区議の議席を引き継ぐとともに、現有6議席を守ることができました。

物心両面にわたり、みなさんの暖かいご支援、ご協力本当にありがとうございました。

選挙戦の特徴は、定数34を51名で争う多数激戦の厳しい選挙となりました。日本共産党は、区議会唯一の野党として、大企業の大規模開発に税金を注ぎ込む区政から、全国トップレベルの豊かな財政を区民のくらし・福祉・教育に使う区政への転換を訴えて闘いました。

とりわけ、自民・公明政権のもとで暮らしが大変になっている時だからこそ、港区の１０２９億円の積立金の３％を使うだけで、切実な区民要求をただちに実現できると緊急提案を行い、６名全員当選で実現させようと訴え、これに対する共感が区民の中に広がりました。

自民・公明・民主の「オール与党」は、この間の「増税、負担増」に賛成したことには口をつぐんだまま、具体的な財源も示さず、福祉を口にするだけで票を得ようとしました。また、公明党は、わが党候補の事務所前で「ウソつき」などと選挙カーから怒鳴り続けるなどして党候補の追い落としをねらいましたが、区民の良識ある判断とわが党の反撃で押し返すことができました。

日本共産党は、ひきつづき区議会第二党として、選挙戦で掲げた公約、切実な区民要望実現へ、みなさんとご一緒に全力で頑張ります。

また、くらし・憲法を守るため、７月の参院選での勝利を目指して奮闘する決意です。ひきつづきのご支援、ご協力をお願いいたします。

■日本共産党港地区委員会は上記の見解を発表しました。

みなと民報

ご意見・ご要望は　３４５５－００５１　まで

２００７年４月号外　発行／みなと民報社／海岸2-4-12／責任者／栗橋伸次郎